

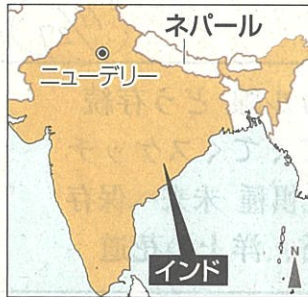
2022 年 11 月 27 日 (日)

中国新聞 SELECT 掲載

吉備国際大保健福祉研究所

氏名：服部 俊夫さん

国：インド



12月1日は世界エイズデーだ。エイズは、ヒト免疫不全ウイルス(HIV)による感染症。全世界では、1981年の報告以来、1億人が感染し、4千万人が亡くなったといわれている。感染は、血液や性行為を介して起こり、防ぐワクチンはない。HIVは、性病が関係すると感染しやすくなる。日本では現在、梅毒が急増しているため、HIV感染の増加も予想されている。



インド

服部俊夫さん(73)

吉備国際大保健福祉研究所特任教授

エイズや結核治療に力

HIVは、DNAに組み込まれるため、体内から一掃を起す。免疫が弱くなると時に起こる感染症

る、国立エイズ研究所(NARI)と2018年から交流している。20年からは、国際協力機構(JICA)の草の根技術協力事業として、エイズや結核の診療態



インドを訪れNARIの関係者たちと意見交換した筆者(右端)

を日と見感染勢の改善を目標に活動して症といい、結核が代表的な疾患である。この事業を通じ、治療が困難な患者の負担が軽減されるよう努力している。新型コロナウイルスのまん延時期に事業を開始したため、NARIとはオンライン会議のみで協議し、コミニケーションの面で困難なこともあった。だが、今は現地の態勢が整ってきた。今年9月には、インドを